

標 題 : The Mediterranean Diet and Breast Cancer: A Personalised Approach.  
地中海食事と乳がん : 個人対応のアプローチ

---

著 者 : A. A. Shaikh, et al. (ニュージーランド オークランド大学  
医学・健康科学群 医学部 栄養学科)

---

掲 載 誌 : Healthcare. 2019 Sep 9; 7(3): 104.

---

要 旨 :

乳がんリスクに対する栄養および食事の影響を要約した、多くの原著および総説がある。

しかし、乳がんのリスクおよび予後に対する遺伝的背景および個人対応栄養学の影響の関わり合いを考慮するものは、とても少ない。

文献検索を以下のデータベースを使用して実施した : MEDLINE (Ovid プラットフォーム)、PubMed、Scopus および EMBASE (Ovid プラットフォーム)。

次の検索語を選んだ : genomics(ゲノミクス)、nutrigenomics(栄養ゲノム情報科学)、breast cancer(乳がん)、breast neoplasms(乳房新生物)、cancer,(がん)、nutrigenetics(栄養遺伝学)、diet-gene interaction(食事-遺伝子相互作用)、および Mediterranean(地中海)、nutrition(栄養)、polyphenols(ポリフェノール)および diet(食事)。

この総説で、地中海式食事と関連する栄養素、効能の証拠、遺伝子発現に対する影響および遺伝子型との相互作用の証拠、そしてこの相互作用が乳がんのリスクと進行をどのように変えられるかを、我々は考察した。

さらに、乳がん治療に対する地中海式食事と通常関連する栄養素の影響、および遺伝子型によって修飾されたときの相乗効果を述べた。

地中海式食事パターンに基づく遺伝子に基づいた個人対応食事の効能の周囲に証拠が存在するけれども、このアプローチを徹底的に実施可能とする前に、臨床試験の形式での証拠がさらに必要である。

キーワード : 地中海式食事パターン、乳がん、食事-遺伝子相互作用、微量栄養素、栄養遺伝学、栄養ゲノム情報科学、個人対応栄養学、ポリフェノール

---